

# 沖縄県議会議史 第二卷 通史編2

## 目次

口 絵

発刊のことば

沖縄県議会議長 喜納 昌春

凡 例……………9

### 第一章 立法院発足前の琉球

一九四五年(昭和二〇)～一九五二年(昭和二七)

第一節 沖縄戦終結と占領……………13

第二節 太平洋戦争の終結と沖縄の地位……………17

第三節 初期の沖縄統治……………32

第四節 米軍統治の本格化……………47

第五節 群島政府……………55

第六節 琉球列島米国民政府の発足……………56

### 第二章 立法院発足前の沖縄群島

一九四五年(昭和二〇)～一九五二年(昭和二七)

第一節 軍政の開始と沖縄諮詢会……………65

第二節	沖繩民政府と沖繩議会の発足	72
第三節	政党活動の開始と自治要求の動き	77
第四節	相次ぐ問題と議員総辞職決議	83
第五節	沖繩民政議会と沖繩群島知事・議会議員選挙	90
第六節	第一回から第六回までの沖繩群島議会	98
第七節	帰属問題をめぐる議論―沖繩群島議会を中心に―	106
第八節	第七回から第一四回までの沖繩群島議会	115
第三章	立法院発足前の宮古群島	
	一九四五年(昭和二〇)～一九五二年(昭和二七)	
	はじめに	129
第一節	宮古郡会	130
第二節	宮古議會	138
第三節	宮古民政議會	158
第四節	宮古群島議會	160
第四章	立法院発足前の八重山群島	
	一九四五年(昭和二〇)～一九五二年(昭和二七)	
第一節	戦争終結と占領	195
第二節	八重山支庁議會	199
第三節	八重山郡会	204
第四節	八重山議会の発足と市町村での初の公選	206

第五節	八重山民政議會……………	225
第六節	八重山群島議會……………	228
第五章	立法院発足前の奄美群島―「独立」と揺れの時空― 一九四五年(昭和二〇)―一九五二年(昭和二七)	
第一節	公選議會への期待……………	247
第二節	群島を二分した選挙……………	251
第三節	議事堂を持たない議會(第一回群島議會)……………	256
第四節	三カ月のロングラン(第二回群島議會)……………	263
第五節	四カ月の長き不在(第三回群島議會)……………	267
第六節	断食議會と知事不信任案(第四回、第五回群島議會)……………	272
第七節	尻すばみの終焉(第六回、第七回群島議會)……………	276
第八節	見えてくるもの・前半〔群島要覧〕管見……………	281
第九節	見えてくるもの・後半〔群島要覧〕管見……………	285
第一〇節	奄美群島議會日誌……………	292
第六章	立法院の発足 一九五二年(昭和二七)―一九五三年(昭和二八)	
第一節	琉球政府の創設……………	309
第二節	琉球政府立法院の創設……………	320
第三節	第三回立法院議會(定例)……………	349
第四節	奄美群島の日本復帰と立法院の解散……………	360

第七章 土地の強制収用と立法院

一九五四年(昭和二九)～一九五五年(昭和三〇)

第一節 第二回立法院議員総選挙と議会構成

第二節 土地を守る「四原則」の定立

第三節 島内冷戦と議会主義の精神

第四節 伊佐浜の土地強制収用と立法院

第五節 伊江島の土地強制収用と立法院

第六節 プライス調査団への道

第八章 島ぐるみ闘争と立法院

一九五六年(昭和三一)～一九五七年(昭和三二)

はじめに

第一節 第八回立法院議会(定例)

第二節 軍用地問題解決をかけた「島ぐるみ闘争」

第三節 第九回立法院議会(臨時)

第四節 第一〇回立法院議会(定例)

第五節 「民連ブーム」とその余波

おわりに

資料

議員名簿

沖縄県議会関係年表

373 378 385 398 412 428 451 452 460 480 485 494 498 508 536

あとがき	537
編さん委員等名簿	539

